

「地方創生は海洋創生」
(環太平洋時代における海洋真文明構築について)

雑誌「海洋真時代」講師 渡邊智弘

はじめに

我々は何をしようとしているか。
なぜ海なのか

環境的観点

地球の三分の二は海
海が地球を人が生きる環境に維持している。
太陽エネルギー、海水の流れが熱を極域まで運ぶ。
海の水が、蒸発して真水を陸上にもたらず。
全ては海に戻る。海は全てを呑み込む。
炭酸ガスの60%以上を海が吸収している。
人の体は海水で包まれている。

教育的観点

海は人を育てる。
想定外を克服する能力を培う海
山崎祐介氏の「人間教育としての海洋教育」
争いはなぜ起こる。全てを呑み込めば争いはない。

歴史的観点

人類の文化文明は常に水に立脚しながら発展
「河川文明」→「地中海文明」→「大西洋文明」→
科学技術の発展は海洋への進出がもたらした。

食料の観点

魚は平均30万個の卵を産む。

具体的にやろうとしていること。

パラグアイで製造した「アメリカ製」ボートを日本で販売
地方創生は海洋創生、そのモデルを石巻に。
真の環太平洋文明を創出